

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/4)

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	カナ 金 ヤマ ユ ミ
学歴	昭和59年 3月 京都大学文学部哲学科心理学専攻卒業 昭和62年 3月 京都大学大学院教育学研究科 (修士課程) 教育方法学専攻修了 平成 2年 3月 京都大学大学院教育学研究科 (博士課程) 教育方法学専攻学修退学				
学位	昭和62年 3月 教育学修士 (京都大学) 平成17年11月 教育学博士 (京都大学論教博第119号)				
専門分野	臨床心理学・心理臨床学・医療における心理臨床				
専門資格	臨床心理士 (1639号)				
所属学会	昭和60年 9月 日本心理臨床学会 平成 6年 4月 日本描画テスト・描画療法学会 平成11年 4月 日本箱庭イメージ療法学会 平成16年 1月 日本心理学会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 コミュニケーションスキル演習、臨床心理学基礎演習、臨床心理学演習、 臨床心理学研究法演習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学総合演習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学実践演習 (箱庭療法Ⅰ)、 障害者の心理学、臨床コミュニケーション論				
	大学院 心理臨床査定特演Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ-A・Ⅱ-B、心理療法特演Ⅰ-A、臨床心理学内実習Ⅰ-A・Ⅰ-B・ Ⅱ-A・Ⅱ-B、臨床心理学特演Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ-A・Ⅱ-B、臨床心理面接特論A				
論文指導	論文指導担当 [主査] (卒論 : 15名、修士論文 : 2名、博士論文 : 該当なし) 論文審査担当 [副査] (卒論 : 4名、修士論文 : 4名、博士論文 : 該当なし)				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	障害者の心理学	講義・演習・実習・実験	春・秋	116名	
	授業の概要： 従来からの障がい者心理学の基本をおさえながらも、可能な限り、心理臨床学の視点から障がい理解、障がい観を考えてゆく。障がい文化についても、触れたい。				
	教育活動の振り返り 教育活動の成果： 半期の授業を通じて障がいや障がい者への見方・感じ方が変わり、自分とは関係のない遠いことと感じていたが、身近であり、自分自身にも関わることと感ずるようになったとコメントする受講生が多かった。 今後の課題： 時代や社会の変化に伴い、障がい理解、障がい観の変化も大きく、そのスピードも速い。それらの変化もよく鑑みながら、講義内容を精査してゆく必要があると感じている。				
	・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 ・学内 1回FD講演会「京都文教大学の初年次教育を考える ジェネリック・スキルを育てるための科目間連携」(10/30(木)14:40-16:10、発題者：総合社会学部・手嶋英貴氏)に参加した。				
・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等を記入してください。 ・大学院生の、学内実習 (ケース担当等) に関わる個別相談に随時応じた。 ・大学院修了生との研究会活動を年7~8回行った。					

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/4)

<p>H26 年度 研究課題</p>	<p>1. 心身症に対する心理臨床的アプローチの研究として、引き続き、甲状腺専門病院における研究を行う。 2. 身体疾患に対する心理臨床的アプローチの研究を、まとめる。 3. 心理臨床学的援助に携わる若手人材の養成プログラムについて考える。</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の 研究活動の概要</p>	<p>研究課題1.について 論文投稿1件(審査中)を行った。 研究課題2.について 論文投稿2件を行った。 後述:(論文) 研究課題3.について 今年も大学院修了生との研究会(事例検討)を行いながら、現場へ出た若手臨床心理士の実状把握に努め、卒後研修に求められる内容を検討した。</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の 研究活動年度の 主な研究成果等</p>	<p>(著書) (論文) 1. 「一般成人の『病の体験』に関する基礎的研究 自由記述を通してみる『病の体験』」、共著、平成27年3月、共著者：駿地眞由美・濱野清志・馬場天信・村川治彦・深尾篤嗣・千秋佳世、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第7集(pp.31-42) 2. 「一般成人における『病の体験』の実態調査 第一報：年代・性別による特徴についての調査報告」(研究ノート)、共著、平成27年3月、共著者：馬場天信・駿地眞由美・深尾篤嗣・濱野清志・村川治彦・千秋佳世、京都文教大学 臨床心理学部研究報告第7集(pp.57-70) (学会報告、学会活動) (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) コメント： 1. 「岩戸さんの事例論文を読んで 成長の徴としての『症状』」、単著、平成27年2月、天理大学カウンセリングルーム紀要第11号(pp.102-105) (調査活動) (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) 心理臨床センター所長、大学運営会議委員、自己点検・評価委員会委員、自己点検・大学院委員会委員、心理臨床センター運営委員会委員、学生相談室運営委員会委員</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の 社会における活動</p>	<p>(NPO法人等の団体への参画) ・ NPO法人琵琶湖ライフケアシステム理事「平15.4より」 ・ 「内分泌糖尿病心理行動研究会」顧問「平16.2より」 (その他) ・ 渡辺カウンセリングルーム臨床心理士「平元.9より」 ・ 医療法人神甲会隈病院臨床心理士「平3.7より」</p>
<p>平成二十一年(2009)～ 二十五(2013)年度の 主な研究成果等</p>	<p>(著書) 1. 「甲状腺疾患診療に有用な心理アセスメント」、共著、平成21年6月、新躍社、深尾篤嗣監修、医療における心理行動科学的アプローチ 糖尿病/ホルモン疾患の患者と家族のために(pp.160-164) 2. 『死を育てる』、共編著、平成24年7月、ナカニシヤ出版、共編者：秋田巖、170p (論文) 1. “Psychological Characteristics of the NEO-FFI and the Tree Drawing Test in Patients with Thyroid Disease” Chihiro HASEGAWA, Kotaro UMEMURA, Madoka KAJI, Noriko ISHIGAKI, Toshio KAWAI, Mika TANAKA, Yumi KANAYAMA, Haruko KUWABARA, Atsushi FUKAO, and Akira MIYAUCHI, Psychologia, 2013, 56, pp.138-153</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/4)

(論文 つづき)

2. 「パセドウ病患者のカウンセリング過程にみられる特徴について 甲状腺専門病院での実践から」、共著、平成25年、共著者：田中美香・河合俊雄・桑原晴子・窪田純久・深尾篤嗣・網野信行・宮内昭、日本心療内科学会誌17巻3号 (pp.52-57)
3. 「病の体験による生活・生き方の変化に関する基礎的研究」、共著、平成26年3月、共著者：駿地眞由美・馬場天信・深尾篤嗣・濱野清志・村川治彦、京都文教大学臨床心理学部研究報告第6集 (pp.117-128)

(学会報告、学会活動)

1. 「甲状腺疾患における心と体の関係の研究」、共同、平成21年12月、共同発表者：河合俊雄・田中美香・桑原晴子・深尾篤嗣・梅村高太郎・長谷川千紘・鍛冶まどか・谷垣紀子、京都大学こころの未来研究センター連携プロジェクト内部報告会、京都大学稲盛財団記念館中会議室
2. 「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究(1) 年代・性別による選択された身体的病内容の比較」、共同、平成22年9月、共同発表者：馬場天信・駿地眞由美・深尾篤嗣・濱野清志・村川治彦、日本心理臨床学会第29回秋季大会、東北大学
3. 「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究(2) 病の体験による生活・生き方の変化」、共同、平成22年9月、共同発表者：駿地眞由美・馬場天信・深尾篤嗣・濱野清志・村川治彦、日本心理臨床学会第29回秋季大会、東北大学
4. 「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究(3) 年代・性別からみた病体験影響度の比較」、共同、平成22年9月、共同発表者：深尾篤嗣・馬場天信・駿地眞由美・濱野清志・村川治彦、日本心理臨床学会第29回秋季大会、東北大学
5. 「甲状腺疾患患者の主体性について(1) NEO-FFI・バウムテストから」、共同、平成22年9月、共同発表者：河合俊雄・長谷川千紘・梅村高太郎・鍛冶まどか・谷垣紀子・田中美香・桑原晴子・深尾篤嗣、日本心理臨床学会第29回秋季大会、東北大学
6. 「甲状腺疾患患者の主体性について(2) 半構造化面接から」、共同、平成22年9月、共同発表者：長谷川千紘・河合俊雄・梅村高太郎・鍛冶まどか・谷垣紀子・田中美香・桑原晴子・深尾篤嗣、日本心理臨床学会第29回秋季大会、東北大学
7. 「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究(4)」、共同、平成22年9月、共同発表者：濱野清志・馬場天信・駿地眞由美・深尾篤嗣・村川治彦、日本心理学会第74回大会、大阪大学
8. 「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの量的基礎研究(5)」、共同、平成22年9月、共同発表者：濱野清志・馬場天信・駿地眞由美・深尾篤嗣・村川治彦、日本心理学会第74回大会、大阪大学
9. 「パセドウ病患者のホルモン値とバウムテストの関連性」共同、平成22年11月、共同発表者：田中美香・桑原晴子・河合俊雄・長谷川千紘・梅村高太郎・鍛冶まどか・谷垣紀子・深尾篤嗣、第53回日本甲状腺学会学術集会、長崎大学
10. 「甲状腺疾患患者の心理的特徴(1) NEO-FFI・バウムテストを用いた神経症群との比較から」、共同、平成23年9月、共同発表者：鍛冶まどか・梅村高太郎・谷垣紀子・長谷川千紘・河合俊雄・田中美香・桑原晴子・深尾篤嗣、日本心理臨床学会第30回秋季大会、福岡国際会議場
11. 「甲状腺疾患患者の心理的特徴(2) 半構造化面接の質的分析による神経症群との比較から」、共同、平成23年9月、共同発表者：谷垣紀子・梅村高太郎・鍛冶まどか・長谷川千紘・河合俊雄・田中美香・桑原晴子・深尾篤嗣、日本心理臨床学会第30回秋季大会、福岡国際会議場
12. 「甲状腺専門病院でのカウンセリングを依頼されるパセドウ患者の特徴について」、共同、平成23年11月、共同発表者：田中美香・河合俊雄・桑原晴子・窪田純久・宮内昭、第54回日本甲状腺学会、大阪国際交流センター
13. 「パセドウ病患者のカウンセリング過程にみられる特徴について 甲状腺専門病院での調査から」、共同、平成24年9月、共同発表者：田中美香・河合俊雄・桑原晴子、日本心理臨床学会第31回大会、愛知学院大学
14. 「カウンセリング期間からみたパセドウ患者の特徴」、共同、平成25年11月、共同発表者：田中美香・河合俊雄・桑原晴子・窪田純久・伊藤充・工藤工・西原永潤・網野信行・中村浩淑・宮内昭、第56回日本甲状腺学会、和歌山県民文化会館

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/4)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>コメント：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「市原さんの論文へのコメント～外傷的体験にむきあうことの難しさ～」、単著、平成22年3月、京都大学大学院教育学研究科心理教育相談室紀要第36号 (pp.143-146) 2. 「児玉さんの論文を読んで～他者の傷つきに触れ、『苦しむ』こと～」、単著、平成22年3月、神戸女学院大学大学院心理相談室紀要「心理相談研究」第11号 (pp.184-187) 3. 「今村さんの事例論文を読んで」、単著、平成23年3月、神戸女学院大学大学院心理相談室心理相談研究第12号 (pp.147-149) 4. 「谷田さんの事例論文を読んで 思春期における守りと戦い」、単著、平成24年2月、天理大学カウンセリングルーム紀要第8号 (pp.180-184) 5. 「心理臨床の原点」、単著、平成24年3月、神戸女学院大学大学院心理相談室心理相談研究第13号 (pp.81-85) 6. 「岡田さんの事例を読んで～『家族』が作り出す迷路～」、単著、平成25年2月、天理大学カウンセリングルーム紀要第9号 (pp.225-228) <p>シンポジウム：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公開シンポジウム「死を育てる」、共同(司会・進行)、平成22年11月、京都文教大学人間学研究所・心理臨床センター・宗教委員会共催、京都文教大学
	<p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成20年度-平成22年度 科学研究費補助金(基盤研究C)「内科疾患における心のケアに関する実証的研究」(課題番号20530628, 研究代表者: 河合俊雄)の一環として、甲状腺専門病院における調査と研究会活動</p> <p>平成21年度-平成24年度 科学研究費補助金(基盤研究B・一般)「身体疾患に対する心理臨床的アプローチの基礎研究」(課題番号21330163, 研究代表者: 本学・臨床心理学部・教授濱野清志)研究分担者</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>平成14年 4月 心理臨床センター副所長「平22.3まで」 心理臨床センター運営委員会委員「現在に至る」</p> <p>平成21年 4月 臨床心理学科予算委員会委員「平23.3まで」</p> <p>平成22年 4月 心理臨床センター所長「現在に至る」 大学運営会議委員「現在に至る」 自己点検・評価委員会委員「現在に至る」 自己点検・大学院委員会委員「平24.3まで」</p>
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度に社会における活動	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成15年 4月 NPO法人琵琶湖ライフケアシステム理事「現在に至る」</p> <p>平成16年 2月 「内分泌糖尿病心理行動研究会」顧問「現在に至る」</p>
	<p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成22年 9月 上宮高等学校の大学訪問、「バウム・テストについてのワークショップ」</p> <p>平成23年10月 京都府立桂高等学校模擬授業「五官とこころのコラボレーション 知覚心理学の世界」、於: 同校</p>
	<p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成24年11月 宇治市教育委員会主催「事例検討セミナー」対象: 宇治市教員</p> <p>(その他)</p> <p>平成元年 9月 渡辺カウンセリングルーム臨床心理士「現在に至る」</p> <p>平成 3年 7月 医療法人神甲会隈病院臨床心理士「現在に至る」</p> <p>平成22年 6月 キャンパス・フォーラム「描いてみようこころの樹・こころの風景」、於: 龍谷大学瀬田学舎</p> <p>平成24年 4月 放送大学客員教授「平26.3まで」</p>